

中学校第1学年 保健体育科学習指導案

1 単元名 「ダンス」（創作ダンス・フォークダンス・現代的なリズムのダンス）

2 運動の特性

(1) 一般的特性

ダンスは、個人や集団で踊り、表現したり、交流したりすることが楽しい運動で、自己能力に適した課題に取り組んで表現したり、みんなと一緒に踊ったりする運動である。

創作ダンスは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現することや、変化のあるひとまとまりの表現ができるようにすることをねらいとした運動である。

(2) 生徒からみた特性

ダンスの楽しさや喜びを感じる要因	ダンスを遠ざける要因
<input type="checkbox"/> 気分が上がる <input type="checkbox"/> 仲間と踊ることができる <input type="checkbox"/> 自由である	<input checked="" type="checkbox"/> 恥ずかしい <input checked="" type="checkbox"/> 振りが覚えられない <input checked="" type="checkbox"/> イメージした動きができない <input checked="" type="checkbox"/> リズムがわからない

3 生徒の実態

(1) 技能

運動全般に対して意欲的である。即興的に表現することのできる生徒が多く、苦手な生徒も一緒になって技能を高められる場面が多く見られる。

(2) 態度

全体的に恥ずかしがらず積極的にダンスに取り組むことができ、他を尊重し仲良く仲間と交流する生徒が多い。

(3) 知識・思考・判断

教師側から提示された課題に進んで取り組める生徒が多い。また、課題ができない生徒に対して、一緒に話し合いながら解決していく様子も見られる。

(4) ダンスに関する意識調査

①ダンスは好きですか。

好き	68% (どちらかというとき好きを含む)	嫌い	32% (どちらかというとき嫌いを含む)
----	-------------------------	----	-------------------------

(5) 体力の実態

(省略)

4 教師の指導観

恥ずかしがらず堂々と思切り体を動かしながら、心も弾ませて踊り、ダンスの楽しさを味わうことができるようにする。また、イメージをふくらませた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動であるため、仲間同士で交流する場と機会を多く設定・展開したい。

(1) 技能

特に、創作ダンスでは、多様なテーマから表したいテーマを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして体を限界まで使って大きく踊れるように取り組ませる。

(2) 態度

特に、創作ダンスでは、学習に積極的に取り組み、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとすることや、健康・安全に気を配れるようにする。

(3) 知識、思考・判断

特に、創作ダンスでは、表現の仕方や関連して高まる体力を理解させる。また、自分の興味や関心に応じて自己の学習課題を設定することや仲間のよさを指摘することができるよう助言する。

5 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「コミュニケーション能力」）
自他を尊重しながら、自らの考えを適切に伝え、認め合うことができる。

6 人権教育上の視点
他者の権利を侵害することなく、自分の考えを適切に伝えることができる。
(技能)

7 単元の目標

(1) ダンスの学習に仲間と共に積極的に取り組むことができるようにする。

【関心・意欲・態度】

(2) 課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、互いの違いや仲間のよい動きや表現を見付けることができるようにする。

【思考・判断】

(3) 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスについて、感じを込めて踊ったり、みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえて踊ることができるようにする。

【技能】

(4) 踊りの特性、表現の仕方、ダンスをすることで柔軟性や全身持久力が高まることなどを理解できるようにする。

【知識・理解】

8 単元及び学習活動に即した評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
単元の評価規準	・仲間と共に積極的にダンスの学習に取り組もうとしていることや、分担した役割を果たそうとしている。	・課題に応じた運動の取り組み方を工夫し、仲間のよい動きや表現を見付けている。	・創作ダンスでは、表したいイメージをとらえ、動きに変化をつけて即興的に表現したり、変化のあるまとまりの表現をしたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは、特徴的なステップや動きで踊ることができる。 ・現代的なリズムダンスでは、変化のある動きを組み合わせて、リズムに乗って全身で踊ることができる。	・踊りの特性、表現の仕方、ダンスをすることで関連して高まる体力などを理解している。

学習活動に即した評価規準	① 恥ずかしがらずに堂々と積極的に全身でダンスを楽しもうとしている。 ② 仲間の学習を援助しようとしている。 ③ 健康・安全に留意している。	① 課題に応じた動きを工夫しながら表現している。 ② お互いの違いやよさを認め合おうとしている。 ③ 交流の場面で、仲間のよい動きや表現を見付けている。	① 現代的なリズムのダンスでは、リズムに乗って、体幹部を中心に全身で弾みながら自由に踊ることができる。 ② 創作ダンスでは、表したいイメージをとらえ、変化のあるひと流れの動きで踊ることができる。 ③ フォークダンスでは、音楽に合わせて特徴的なステップで踊ることができる。	① ダンスの特性や表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ② ダンスをするこゝとで柔軟性や全身持久力が高まることを理解している。
--------------	--	--	---	--

9 単元の計画

(1) 領域の取り上げ方

学年/運動	創作ダンス	フォークダンス	現代的なリズムのダンス
第1学年	2	1	5
第2学年			8
第3学年			8

(2) 運動種目

学年	教材	目指す動き
1	フォークダンス、創作ダンス、現代的なリズムのダンス	伝承された踊りを音楽に合わせて特徴的なステップと組み方で踊る。多様なテーマから自らが表現したいイメージをとらえる。イメージを即興的に表現する。踊りたいリズムや音楽の特徴をとらえて踊る。
2	現代的なリズムのダンス	変化を付けたひと流れの動きで表現する。動きを誇張したり繰り返したりして表現する。
3	現代的なリズムのダンス	踊りたいリズムや音楽の特徴をとらえて踊る。変化とまとまりを付けて連続して踊る。

(3) 指導と評価の計画 (8時間扱い) 本時は○

時	1	2	③	4	5	6	7	8
ねらい	・フォークダンスの歴史を理解し、ダンスを楽しもう	・創作ダンスに挑戦しよう①	・創作ダンスに挑戦しよう②	・振りを覚え、全身で大きく表現しよう	・自分達で現代的なリズムのダンスを創作しよう	・隊形移動をさせ、現代的なリズムダンスを工夫しよう	・発表会に向けて現代的なリズムダンスを込めよう	・発表会で仲間のダンスを認め合おう

指導内容	「フォークダンス」 ・フォークダンスの歴史 ・マイムマイム ・ジェンカ ・タタロチカ	「創作ダンス」 ・海の中の魚になりきる。 ・忍者になりきる。	「創作ダンス」 ・様々なスポーツに挑戦	「現代的なリズムのダンス」 ・スキップ ・ジャンプ	「現代的なリズムのダンス」 ・すばやいたーン ・ねじる動き	「現代的なリズムのダンス」 ・隊形移動	「現代的なリズムのダンス」 ・強弱 ・組み合わせ	「発表会」 ・発表者の心構え ・鑑賞の観点、態度	
学習過程	1 準備・集合 2 あいさつ 3 出欠確認・準備運動 4 学習のねらいと授業内容の確認								
	5 フォークダンスの歴史・振り ①マイムマイム ②ジェンカ ③タタロチカ	5 海の中の魚になってみよう。 6 忍者になってみよう。 ・忍び込む→敵と戦う→宝を奪う	5 様々なスポーツに挑戦 6 ペアでスポーツを表現しよう 7 グループになって冬のスポーツを表現しよう。	5 ロックのリズムの特徴をとらえてみんなで踊る。	5 簡単な繰り返しのリズムで踊る。	5 リズムの特徴をとらえ続けて自由に踊る。	5 オリジナルのダンスづくり	5 ダンス発表会	
8 整理運動 9 学習の振り返り 10 次時の予告 11 あいさつ									
評価の計画	関			①	②		③		
	思	③	②	①					
	技	③	②			①		①	
	知				①		②		
	方法	観察カード	観察	観察カード	観察カード	観察	観察カード	観察	観察カード
	場面	5	5 6	6 7	5	5	5	5	5

10 本時の学習と指導（3／8時）

(1) ねらい

課題に応じた動きを工夫しながら表現している。【思考・判断】

(2) 準備

・スピーカー ・マイク ・ホワイトボード

(3) 展開

◎人権教育上の配慮

段階	学習内容・活動	指導上の留意点(指導○、評価規準◆)	
		T 1	T 2
導入 15分	1 準備・集合 2 あいさつ 3 出欠確認・準備運動 4 学習のねらいと授業内容の確認	○素早く整列させる。 ○大きな声で挨拶させる。 ○欠席者、体調不良者、見学者の確認をし、活動を指示する。 ○本時の流れ、ねらいを理解させる。	○列を整え、集中して話を聴くことができるようにさせる。 ○全体を巡回し、生徒の健康状態を確認する。

強調したい場面を強弱のついた動きで表現しよう！

- 5 W-U P
- ・前後ペアで体じゃんけんを行う
 - ・勝ち：先頭 負け：真似をする
 - ・思いつくスポーツの動きを試してみる。
→前後交代して行う。

- どんな動きも認められる雰囲気をつくる。
- 場を広く使って表現するようにさせる。

- よい動きを、他のグループにも伝えるように声掛けする。

- 6 決まったスポーツをペアで行う。
- (1) ネット型スポーツ
 - (2) ゴール型スポーツ
→早送り・逆再生・スロー・停止を使いながら行う

- 誰とでも組める雰囲気を作る。
- 思いきり動く中で、よりよい動きを見つけていくことを伝える。
- 「誇張」はどう表現したらよいか生徒から出させる。
- 動きの高低差、強弱、集散などを工夫させる。
- 座って考えず、動きながらアイデアを出すよう助言する。

- 生徒間を巡回し、ペアが組めているか確認する。
- 困っている生徒が理解できるよう個別に補足していく。
- はじめ-なか-おわりの構成を考えられるように声掛けをしていく。
- 安全に気を付けて練習に取り組ませる。

その動きを数回繰り返してやってみよう

- 7 「冬のスポーツ」をテーマに行う。
- ・4人グループをつくる
 - ・テーマに沿ったスポーツを決める。
- ☆強調したいところ（見せ場）をつくる
- ☆はじめ-なか-おわり（ストーリー）をつくる
- ・踊り込み
 - ・リハーサルを行う。
- ※終了のポーズを決めること。
- ・発表会を行う。
→半分に分けて行う。
- <見るポイント>
- ・何のスポーツであるか
 - ・どんなストーリーであるか

- ◎一人一人全員が発言した上で、グループ全員の合意によって動きを決めるように伝える。（技能）
- 最後はポーズを決めて止まらせ、ダンスを完結させる。
- よい動き、アイデアを称賛する。
- できたものを、より動きやすくするために仲間同士で意見を出し合い修正させる。

- ◎一人一人全員が発言した上で、グループ全員の合意によって動きを決めるように伝える。（技能）
- 全体を巡回していく中で上手いかない生徒やグループを補助する。
- できたものを、より動きやすくするために仲間同士で意見を出し合い修正させる。

◆課題に応じた動きを工夫しながら表現している。
【思考・判断】

展開
27分

	<p>・強調する動きでよかったところはどこか。</p>		
<p>努力を要すると判断される状況(C)の生徒への指導の手だて △グループでの動きの高低差、強弱、集散などについて教師側からも声を掛け、例を挙げて実際に動くように促す。 「十分満足できると判断される状況(A)」の生徒の具体的な姿 ○強調したい場面を強弱のついた動きで表現することができていて、他の生徒に対して助言し、動きを教えることができる。</p>			
整理 8分	8 整理運動を行う。 9 学習の振り返りを行う。 10 次時の予告を行う。 11 挨拶	○個人でしっかりと整理運動に取り組ませる。 ○本時の学習で意欲的に取り組んでいた生徒やグループを紹介し、次時の学習の意欲を高めさせる。 ○素早く整列を行い、元気よく挨拶をさせる。	○整理運動を丁寧に行わせる。 ○学習カードに記入できているか確認をする。 ○全身に力を入れて、整列・気を付けさせる。